

IV 自由回答

自由記述については意見が多いため、本報告書においては主な意見を内容ごとに分類し、まとめています。なお、各調査の意見数は以下のとおりです。

- ・就学前児童調査 347件
- ・小学生児童調査 272件

■就学前児童調査

○地域における子育て支援

- ・子育て支援事業などいい制度があるのかもしれないが、自分を含め、知らない人が多いと思う。多くの人を利用しやすいよう、もっとアピール、周知活動をして欲しいです。(5歳/母親)
- ・子育て支援センターのイベントの告知やピッコロやのどかのイベントの状況など、バラバラに見なければいけないので一気にまとめてチェックできるHPのサイトなどがあるとよいと思う。(1歳/母親)
- ・武蔵野市0123で行っているような保育付きの親向けの様々な講座をやって欲しい。(4歳/母親)
- ・兄弟がいる場合、ファミリーサポートを利用すると、二人別々にお願いしないといけないとうかがいました。何かあった時に一人につき子ども二人では対処できないからと聞いて納得しましたが、実際は二人別々の家で面倒をみてもらうとか、自宅で二人のサポートさんがいるのを考えるとちょっと嫌だと思い、結局利用できずにいます。もう少し柔軟にしていただけるといいのですが。(4歳/母親)

○保育サービスの充実

- ・認可保育所に入りにくい現状を改善していただきたいです。審査の基準がいわゆるサラリーマン優先になっているように思います。ちゃんと現状を見て所得が低く、共働きかどうしても必要な家庭が認可保育所に入れるようにしてください。(4歳/父親)
- ・保育所の数が少ないと倍率が高くて第2子を妊娠、出産するのをためらいます。仕事をしているので、どうしても復職できることを考えると、子どもには悪いと思いますが、1人っ子になってしまう。安心して第2、3子まで出産でき、復職できるような環境を整えてもらいたいです。(2歳/母親)
- ・幼児教育を行ってくれる保育園や習い事をしてくれる保育園が増えて欲しい。日常生活の延長という考えも良いが、幼児期の過ごし方で学力に差が出るのではと、どうしても考えてしまう。(2歳/母親)
- ・駅前など利用しやすい場所に時間単位で預けられる施設があると便利です。杉並区のように子育て応援券みたいなクーポンがあると、子どものことに利用するだけでなく親のリフレッシュにも使えて良いと思います。(3歳/母親)
- ・一時保育の予約は何週間も後の予約になるので利便性に欠けます。もっと気軽に一時保育を利用したいです。(1歳/母親)

○子育て支援のネットワークづくり

- ・保育園に通ってなくても子どもを集団で遊ばせたりする時間が大切だと思うので、そういう機会をより多く作ってほしい。今は児童館等のイベントが週1回くらいしかないので、市内で知り合ったママ友と集まるようにしているが、やはり数も限られるし、イベントとしてあった方が行こうという気になるし、もっと友達も増えて充実すると思う。
(1歳/母親)
- ・育児の悩みを抱えている母親はたくさんいます。横のつながりや近くに知人などがない母親もたくさんいます。そういう人たちへもっとそちら側から救いの手を差し伸べてください。こちらから行けない人が多いと思いますので。(2歳/父親)

○地域における子どもの活動拠点の充実

- ・自宅でも公園でも子どもが騒ぐと迷惑がられ、のびのび遊べる場がほとんどないと思います。遊べる場が無いので、子どもはゲームやテレビをするしかなくなっていると感じます。(3歳/母親)
- ・まだ学童に入れる年ではないが、毎年抽選と聞き、仕事を辞める可能性があること知り、不安がある。数を増やす、民間のキッズベースキャンプなど、選択肢を複数作っていただきたいです。(4歳/母親)

○妊娠・出産や母親・乳児の健康に対する支援

- ・集団健診会場を増やしてください。自宅から遠かったり、交通が不便だったりと同じ思いのお母さんが多くいます。(1歳/母親)
- ・3歳児健診など保谷庁舎だけでなく田無庁舎でも行ってほしい。田無庁舎から保谷まででているシャトルバスも職員しか乗ってはいけないというのもおかしいと思う。私用の利用でない場合は使えるようにしないと遠くに住んでいる人に不利だと思う。(5歳/母親)
- ・出産後の母親のケアにもっと力を入れてほしいです。産後うつや児童虐待予備群を探し出し、その方への特別なケアをするというのは既にされているのだと思いますが、そういう一部の人以外の誰でも、あまねく出産で受けたダメージはあり、ケアが必要です。
(3歳/母親)

○子どもの教育環境

- ・図書館の蔵書量をもっと増やして欲しい。また、子ども専用の図書館があると嬉しい。
(4歳/母親)
- ・西東京市には認定こども園がなさすぎます。保育だけで散歩する保育所より幼稚園のようなしっかりした教育を受けたいのです。もっと大事な時にしっかり教育を受けられる内容を兼ねた認定こども園を増やしてください。又、お弁当の冷たい給食ではなくて手づくりの給食を食べられる幼稚園を求めます。(4歳/母親)

○子育てしやすい住居・まちの環境面での充実

- ・子ども達の遊ぶ場所が少ない。遊具のある公園が少ない。(もっと大きなアスレチック公園がほしい)『ここでは自由にボールで遊べる』と思える公園を作って欲しい。自転車のマナーが本当に低下していると思うので親を含めた指導をもっとして欲しい。(2歳/母親)

- 小さな公園でも手入れをして欲しい。砂場があっても犬猫の糞があって子どもを遊ばせられなかったり、夏は雑草がひどく、蚊もいる。何より治安面が不安です。(4歳/母親)
- 外出をよりしやすくするために、歩道、自転車道の整備をお願いします。段差も多いのでベビーカーでも大変苦労します。(0歳/母親)

○仕事と家庭生活の両立

- 4月から復帰し、働く母の大変さを身にしみて感じています。仕事は充実していて楽しいのですが、とても忙しく子どもと過ごす時間が短くなってしまっているのでジレンマを感じています。働くママにもっと優しい世の中になってほしいなあと思います。(2歳/母親)
- 保育園の増設とともに、職場(会社)の理解が非常に大事だと思います。また、小学校では、親が日中に参加しなければならない行事・保護者会・役員の仕事があるため、働く母親は皆、対応に苦慮しています。(5歳/母親)

○子どもを対象にした犯罪・事故の軽減

- 子どもを狙う犯罪などが増えていて小さい子どもを持つ親としてはとても不安な時代です。シルバー人材など地域で活動する方々の力を借りて、公園などのパトロールをしてもらいたいと感じる事があります。大人の方でその事業の人だとわかる制服など身につけてパトロールしてもらえるといくぶん安心して生活できるかな?と思ったりします。(2歳/母親)
- 子どもの家庭内でのけがなど事故を防ぐための(やけど、窒息)啓発していくことが必要だと思います。過去の事例を参考にして、目を離さないことです。(3歳/父親)

○要保護児童に対する支援

- 子どもの虐待による悲しいニュースを知ると、とてもやり切れない思いをします。親へのサポート、子どもの命を守るためにも自治体のやるべき事を具体的に示してほしいです。(5歳/母親)
- 子ども達に障害があり、上の子の療養のため、下の子は一時保育を週3回利用しています。ファミサポも利用していましたが高すぎる。一時保育が取れなかったら療養を休んだり、祖父母に遠方から来てもらっています。子どもの介護、療養で定期的に預けれるところが必要です。(2歳/母親)
- 母子家庭での仕事と子育ての両立は大変厳しいです。金銭的にも生活すべて一人で行わなければならないためイライラも多く、つい子どもに当たってしまうこともあります。職場での理解度もなかなか難しく、子どもが体調不良の時も自分以外に見てくれる人もなく、他に頼めばお金がかかり、仕事を休めばクビ覚悟です。(4歳/母親)

■小学生児童調査

○地域における子育て支援

- ・放課後子ども教室を初めて知った。自分の地域でも活発にやってほしい。小学生の間は様々な市からのサポートがあると心強い。(小5/母親)
- ・子どもが大きくなり自分でだいたいの事ができるのでサポートをあまり必要としない。逆に自分達がサポートする側になればいい。(小5/母親)
- ・市役所の子育て支援課内に子育てアドバイザーの専門家がない事が残念。(小6/母親)

○保育サービスの充実

- ・学童クラブが定員超過で、施設が狭く、子どもや指導員にストレスがある。場所の確保など、施設の拡張を強く希望する。(小2/母親)
- ・学童の内容・質がもっと向上されるといいなと思う。月謝がもっとかかってもいいので色々な習い事ができる民間の学童があると嬉しい。(小2/母親)
- ・現在、仕事をしていないので、共働きの家庭の子の面倒をよく見たりする事があるので、学童クラブなどの利用拡大に大賛成です。特に、対象学年を6年生までにすること、利用時間の延長、日曜日を利用可能にすること、長期休暇の利用が拡大することになればいいなと思います。それから、放課後子ども教室の情報をもっと知りたいです。(小6/母親)

○子育て支援のネットワークづくり

- ・無料(または安価)で参加できる親子向けのイベントがもっとたくさんあると嬉しいです。地域で多世代間交流ができるような場所や仕組みがあると嬉しいです。(小2/母親)
- ・反抗期、思春期の子どもへの対応の仕方についての講座があれば良いと思います。(小6/母親)

○地域における子どもの活動拠点の充実

- ・学童に行っている子ども達が、21時頃まで公園で遊んでいたりして心配に思う。学童後に居られる場を提案してあげてほしい。(小2/母親)
- ・高学年になると帰宅後遊ぶ場所が限られてしまうので、イベント・サークル等自由に体験できる場所があるといい。(小5/母親)
- ・学童という形ではなく、放課後の学校で遊べる学べるようなものが欲しい。名古屋市や世田谷区には、わずかな保険料でボランティアの方が入り、教室を開いてくれたりというのを聞いたことがある。(小6/母親)

○妊娠・出産や母親・乳児の健康に対する支援

- ・医療費を中学卒業まで無料にしてほしい。インフルエンザ予防接種に補助があるといい。(小5/母親)
- ・医療費も無料ではないし、病院が18時迄で早すぎるなど、西東京市は子育てしづらい。(小6/母親)

○子どもの教育環境

- ・小学生ぐらいの子ども達の居場所が少ない。図書館も狭く、古い本ばかり。教育レベルも23区に比べ低く、教育に対してやる気が感じられない。(小4/母親)
- ・市内の公立小中学校で修学旅行がないのは残念。希望者だけでも実行してほしい。西東京市は子どもが増えているので支援の予算を増やすべき。(小3/母親)
- ・子どもの体力の低下が気になる、改善すべき。(小2/母親)

○子育てしやすい住居・まちの環境面での充実

- ・子どもがボール遊びできる公園がないので困る。思いっきり外で遊ばせたい。(小4/母親)
- ・西東京市には、整った歩道がないように思えます。ベビーカーのすぐそばを車が通ったり、「いこいーなを探せ」にも参加しましたが、歩道のない道での子ども達の活動は危険だと思いました。新たに開発の進む地域にはできるだけ歩道の設置をお願いしたいです。(小3/母親)

○仕事と家庭生活の両立

- ・母親だけが子育てをするのは難しいので、父親の参加も必要だが、父親が子育てに対して意欲が低く、労働環境も子育てに参加しづらい環境のため改善が必要。(小2/母親)
- ・子育てと仕事の両立で大変なのは小学校からだと思う。この時期の支援充実を願う。(小4/母親)
- ・保育施設における保育時間の延長や、利用対象学年の拡大などに取り組んでいるが、それよりも、保護者の長時間労働をやめさせ、19時には家族が揃って夕食を共にし、学校であった出来事や地域との関わりで得た情報などを話し合える環境を作ることが大切だと思う。そのためのワークライフバランスの活動を活発に行い、労働者や企業の意識を変えるべきだ。今後、介護においても、短時間勤務など時間的制約がある人が増えていくだろうし、ワークライフバランスは必須の事項だと考えます。(小2/母親)

○子どもを対象にした犯罪・事故の軽減

- ・学校にも警備員を配置して見回りしてほしい。登下校時間帯には交差点など危険な所にパトロールしてほしい。(小4/母親)
- ・不審者情報が多く子どもを安心して公園に送りだすことができない。危険な場所を把握し不審者が出にくい環境作りをしないといけない。(小4/母親)
- ・駅前の線路沿いなどに街灯があっても暗い感じがしますので、もう少し街全体的に防犯のために街灯を明るくしていただけたら良いと思います。(小6/母親)

○要保護児童に対する支援

- ・西東京市は障害児対策(支援)が遅れている。保護者の自己努力だけでなく、地域で互助ネットワークが作れるような働きかけをして欲しい。(小3/母親)
- ・子どもの発達が集団の学習に適応できていない現実に困っている。小学校から中学校への学習が上手くつながるようにしてほしい。(小6/母親)
- ・ひとり親への支援をもっとして欲しい。(小2/母親)